

【今年度からの取り組み】

- 保健師・管理栄養士により、一人ひとりに合わせた最適な保健指導と栄養相談を実施しています。
- 最新式の低放射線量CT装置を導入したことにより、画質を保ちながら被ばく線量を減らしています（胸部レントゲン写真2枚分に相当）。
- その他、厳しい検査基準が求められる航空身体検査の指定機関に県内で初めて認定されており、検査体制が整っています。



当センターは、次の3つにより市民の健康増進に繋がっていきます。

- ① 健診機能の充実
幅広い健診メニューの提供など
- ② 情報提供・発信
生活習慣病の予防情報の提供など
- ③ 技術開発支援
〇次予防健康づくり推進事業など、市の事業との連携により、予防医学を推進していきます。

【今後、機能の充実のために予定していること】

令和3年4月より公的ながん検診・各種健診の予約を開始します。

市が実施する健診会場の一つとして、センターを選択していただくことができます。

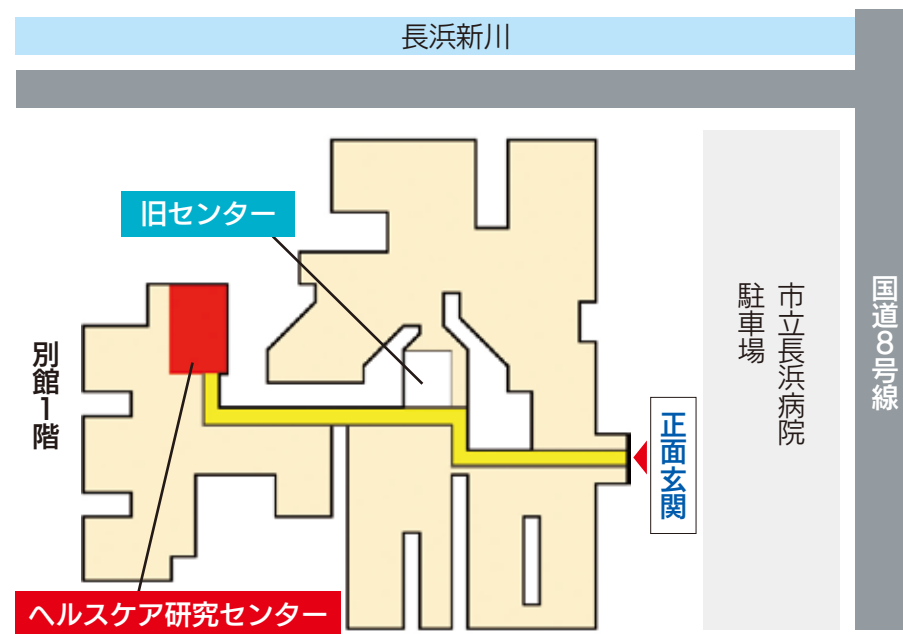
※予約の詳細は令和3年度「長浜市健康づくり日程表」をご覧ください。

○脳・心臓、筋肉・骨に特化した新たなコースを随時提案し、実施していきます。

社会的な役割と今後について

その3 機能性のある館内

健診の間、清潔感のあるゆったりとした空間で過ごしていただけます。また、プライバシーに配慮し、婦人科健診に専用の待合室ができたほか、問診から検査、診察へとスムーズに受診していただける部屋の配置になっています。



石田 均
ヘルスケア研究センター長
日本内科学会指導医・認定内科医
日本糖尿病学会研修指導医・専門医
日本内分泌学会内分泌代謝科指導医・専門医



「〇次健診」との関わり

長浜市が京都大学との間で10年以上にわたり共同で取り組んでいる、糖尿病などの生活習慣病やその合併症の発症メカニズムを解明する「〇次予防健康づくり推進事業」に協力しながら、予防医学の分野の発展に貢献したいと考えています。そして、長浜市を〇次予防事業の拠点とするため、行政と連携を図りながら、〇次健診の追跡調査を行うための実践環境の整備や、その研究成果の活用方法の確立に向けて、さらに具体的な形で関わっていききたいと思っています。

将来への展望

センターの活動方針として、これまでの「生活習慣病対策」としての定期的な受診などの基礎疾患の予防と併せ、「加齢対策」による体力や認知機能の維持という新たな柱を加えます。

そしてこれらによって、医療機関や介護施設への過度な負担を軽減して、将来にわたり国や地方自治体の財政基盤の安定化に繋がります。市民の皆さんの健康増進と健康寿命の延伸を目標とする社会的な貢献を、長浜市と二一三脚で根気よく進めます。

さらに地域医療との連携のなかで、市内の各医療機関への積極的な受診勧奨そして生活指導や栄養相談に関する幅広い情報提供により、これまで以上に強固な相互協力体制を築き上げていきたいと考えています。

ヘルスケア研究センター

健診・人間ドック

